

症例

6Fr のガイドカテーテルを用い radial approach にて PCI を施行。ステントを挿入後 IVUS で確認するためプルバックし、最後引き抜いてこようとしたがステントのエッジに引っかかり抜けなくなった。

カンファレンスででた意見。

1. イメージングコアを元に戻してから再度行う。
2. ワイヤーをもう一本使いあたるところを変える
3. 大腿動脈から穿刺しなおしバルーンを引っかかっている部分に持って行って再拡張
4. スネアを用い引っ張る
5. ワイヤーを抜去してそのまま抜去

以上の意見が出た。

一番よい方法と思われたのは大腿動脈を穿刺しなおし、7Fr のガイドカテでアプローチしなおしバルーンで引っかかっていると思われる部分を拡張する方法であった。